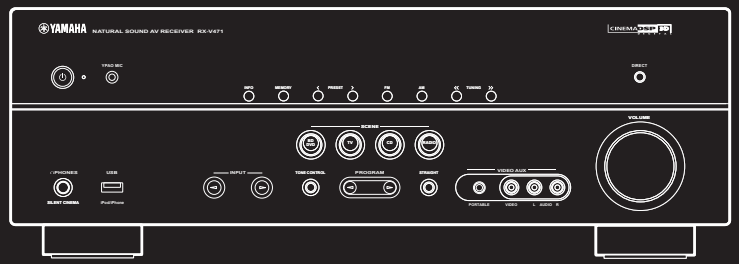
YAMAHA

AVレシーバー

# RX-V471

# かんたん設置ガイド



本書では、5.1チャンネルシステムを設置して、
本機でBD/DVDのサラウンド音を再生するまでの手順を案内します。
詳しい説明は、別冊の「取扱説明書」をご覧ください。

■本書で使われている記号について
・「💡」は、本機をより良く使うための補足事項です。
・「❗」は、本機の設定や取り扱いについての注意事項です。

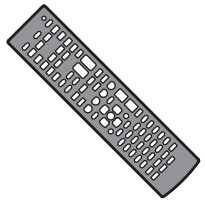
**本書と「取扱説明書」のPDF版を以下のウェブサイトからダウンロードできます。**
**http://www.yamaha.co.jp/manual/japan/**

J

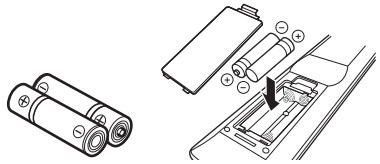
# 1 準備する

## 付属品を確認する

すべて揃っていることをお確かめください。



□ リモコン



□ 単4乾電池（2本）
正しい向き（+と−）でリモコンに入れてください。



□ AMアンテナ



□ FMアンテナ




□ 前面入力端子
保護用キャップ



□ YPAO用マイク



□ 取扱説明書



□ かんたん設置ガイド（本書）

## 必要なケーブル

本書の説明どおりに接続する場合、以下のケーブルを別途ご用意ください。

□ スピーカーケーブル（スピーカーの本数分）
□ HDMIケーブル（2本）
□ モノラルピンケーブル（1本）
□ 光デジタルケーブル（1本）

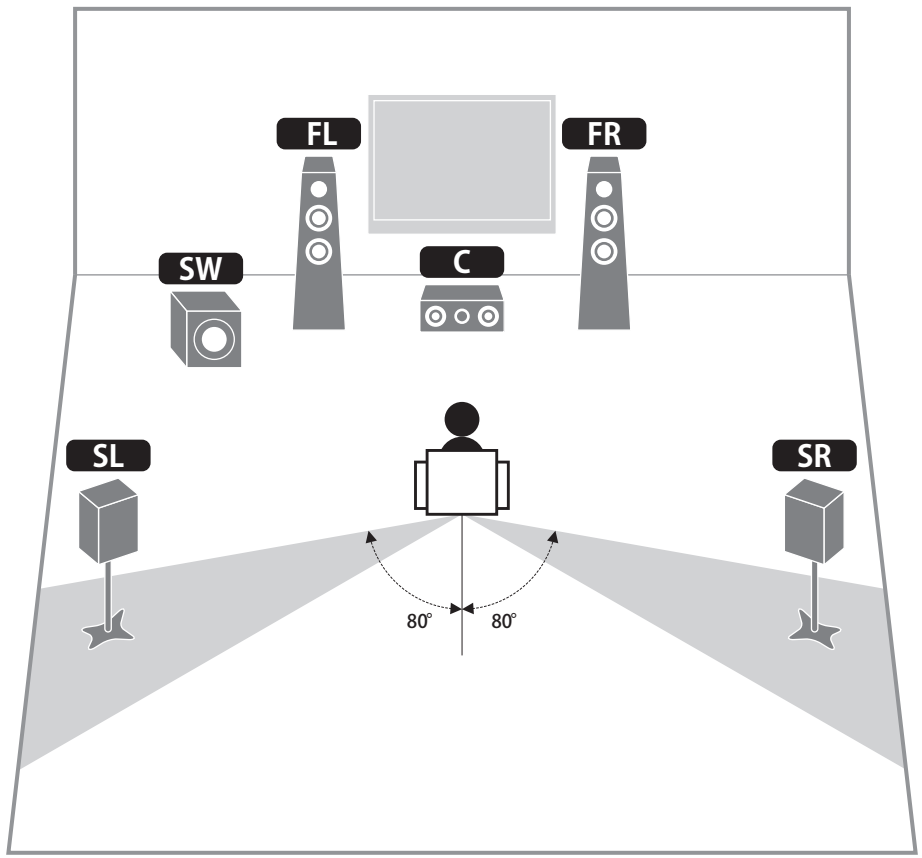


• オーディオリターンチャンネル（ARC）対応のテレビをお使いの場合は、光デジタルケーブルは不要です。

# 2 スピーカーをお部屋に配置する

下図を参考にお部屋にスピーカーを配置してください。5.1チャンネル以外のシステムでお使いになる場合は「取扱説明書」をご覧ください。

## 5.1チャンネルシステム




FL フロントスピーカー(左)
FR フロントスピーカー(右)
C センタースピーカー
SL サラウンドスピーカー(左)
SR サラウンドスピーカー(右)
SW サブウーファー

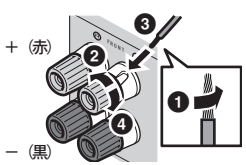
# 3 スピーカー/サブウーファーを接続する

- スピーカーはインピーダンスが6Ω以上のものをお使いください。
- サブウーファーはアンプ内蔵のものをお使いください。
- スピーカーを接続する前に、本機の電源プラグをコンセントから外してください。
- スピーカーケーブルの芯線どうしが接触したり、本機の金属部に触れたりしないようにしてください。本機やスピーカーが故障する原因となります。スピーカーケーブルがショートしている状態で電源を入れると、前面ディスプレイに「CHECK SP WIRES!」と表示されます。

## スピーカーケーブルを接続する

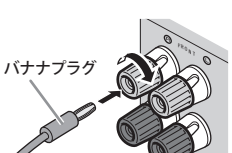
スピーカーケーブルは2本で一対になっています。
1本で本機とスピーカーの－（マイナス）端子どうし、もう1本で＋（プラス）端子どうしを接続してください。
2本の色が異なる場合、黒を－（マイナス）側、もう一方を＋（プラス）側と決めておくと間違わずに接続できます。

❶ ケーブル先端の絶縁部（被覆）を10mmほどはがし、芯線をしっかりとよじる。
❷ スピーカー端子をゆるめる。
❸ 端子側面のすき間にスピーカーケーブルの芯線を差し込む。
すき間は端子下側にもあります。側面から差し込みにくい場合は、下側のすき間に差し込んでください。
❹ 端子を締め付ける。

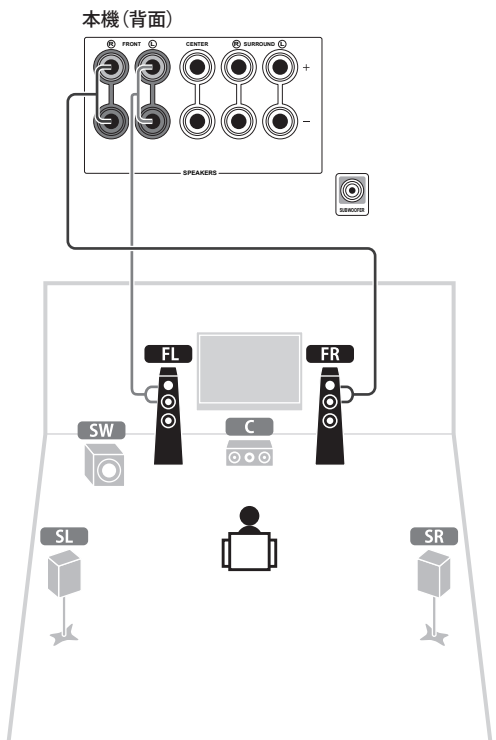



### バナナプラグを使用する場合

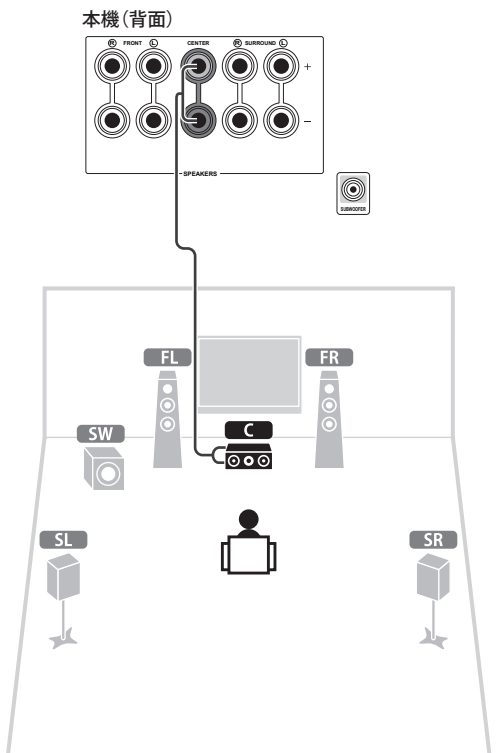
スピーカー端子を締め付け、端子にバナナプラグを差し込む。




## 1 フロントスピーカー（FL / FR）をFRONT（Ⓛ / Ⓡ）端子に接続する。

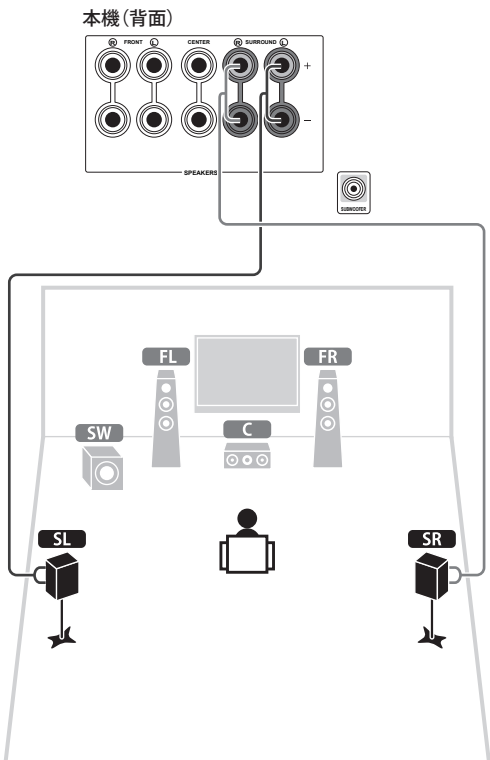



## 2 センタースピーカー（C）をCENTER端子に接続する。



## 3 サラウンドスピーカー（SL / SR）をSURROUND（Ⓛ / Ⓡ）端子に接続する。

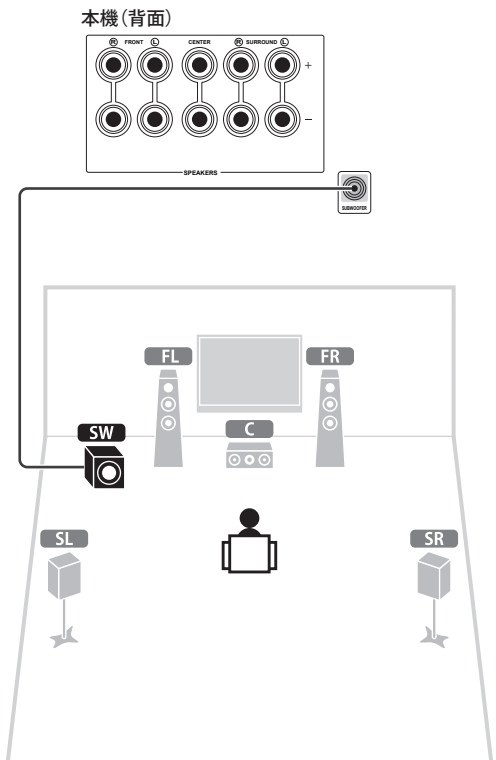
本機（背面）



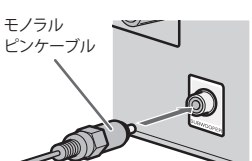

## 4 サブウーファー（SW）をSUBWOOFER端子に接続する。

接続する前に、サブウーファーの電源を切ってください。

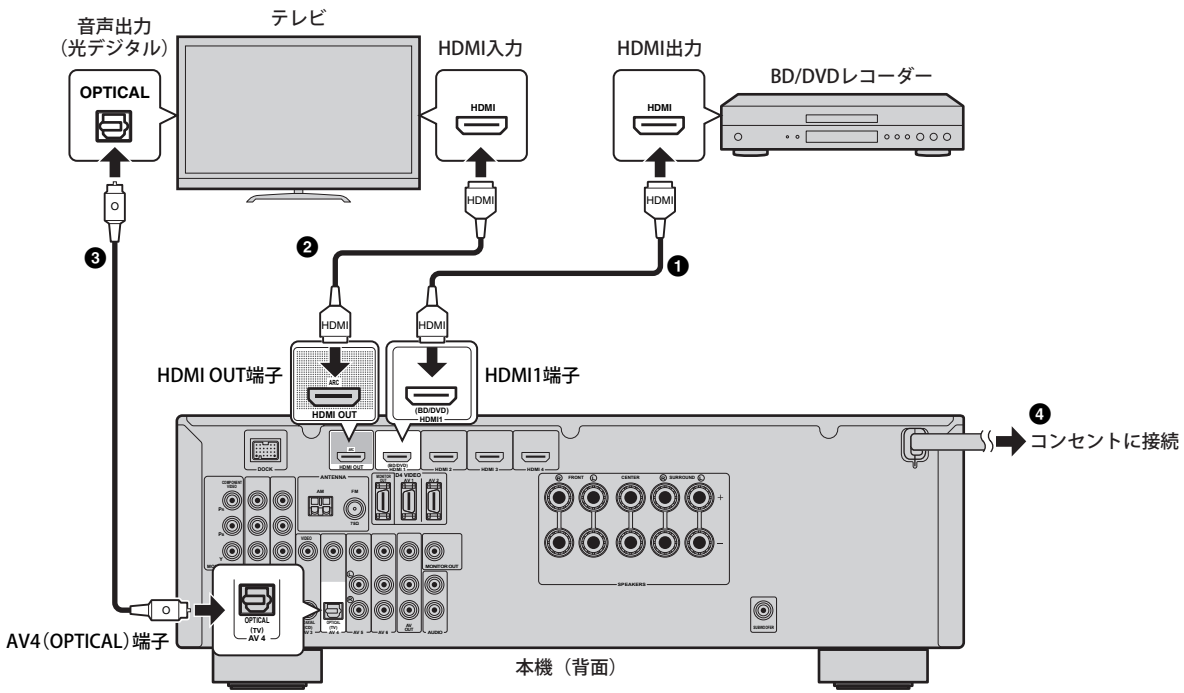
本機（背面）

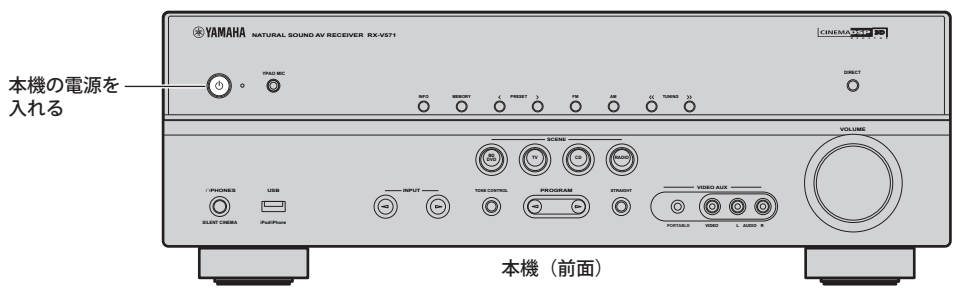



モノラルピンケーブルを使って、サブウーファーを接続します。



# 4 外部機器を接続する




## 1 外部機器を本機に接続する。

❶ HDMIケーブルでBD/DVDレコーダーと本機を接続する。
HDMIケーブルでBD/DVDレコーダーとテレビを直接接続している場合は、テレビ側からケーブルを取り外して、本機に接続してください。

❷ HDMIケーブルでテレビと本機を接続する。

❸ 光デジタルケーブルでテレビと本機を接続する。
この接続によりテレビ音声を本機で聴くことができます。オーディオリターンチャンネル（ARC）対応のテレビをお使いの場合は、この接続は不要です。

❹ 電源プラグをコンセントに差し込む。

- ラジオのアンテナや、ほかの機器を接続する場合は「取扱説明書」の「準備する」（14ページ）をご覧ください。

## 2 本機、テレビ、BD/DVDレコーダーの電源を入れる。

## 3 BD/DVDレコーダーの映像がテレビ画面に表示されるか確認する。

① テレビ側の入力を本機からの映像に切り替える。

② HDMI1キーを押して、本機の入力を「HDMI1」に切り替える。
BD/DVDレコーダーの映像がテレビ画面に表示されれば接続は完了です。
次ページでスピーカー設定の自動調整を行ってください。

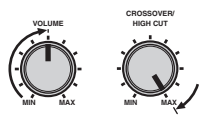
# 5 スピーカー設定を自動で調整する（YPAO）

付属のYPAO用マイクを使って、スピーカーの有無や視聴位置との距離を検出し、音量バランスや音色などのスピーカー設定を自動で調整します（YPAO：Yamaha Parametric room Acoustic Optimizer）。

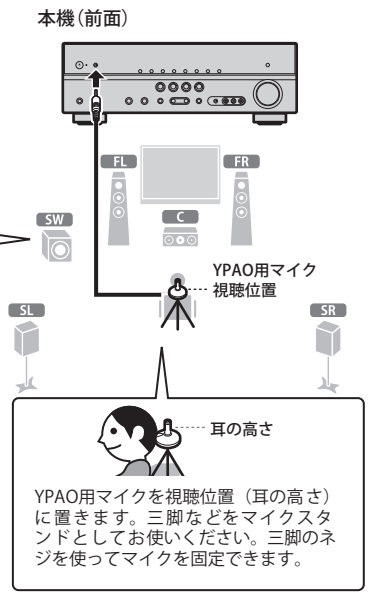
- 測定中は、音量が0 dBに固定されます。
- 測定中は大きな音が出力されます。小さなお子様がいらっしゃる場合は十分にご配慮ください。また、ご近所への迷惑とならないよう夜間の使用は控えてください。
- 測定中はお部屋を静かに保ってください。
- ヘッドホンは接続しないでください。
- スピーカーとYPAO用マイクの間に障害物があると正しい測定ができません。測定中は部屋の隅に移動するか退出してください。所要時間は約3分です。

## YPAOを始める前の準備

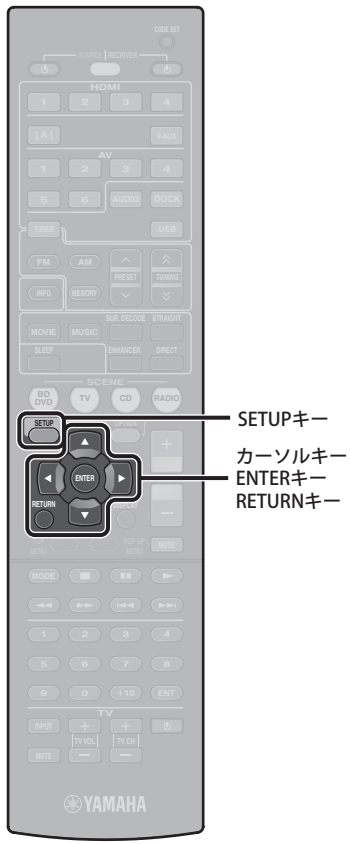
- サブウーファーの電源を入れて、音量を半分に調節します。クロスオーバー周波数を調節できるサブウーファーをお使いの場合は、周波数を最大にします。




- 無信号時に自動で電源をオフにする機能があるサブウーファーをお使いの場合は、一時的に機能をオフにしてください。




YPAO用マイクを視聴位置（耳の高さ）に置きます。三脚などをマイクスタンドとしてお使いください。三脚のネジを使ってマイクを固定できます。




### 1 YPAO用マイクを前面のYPAO MIC端子に接続する。

テレビに以下の画面が表示されます。




- 操作を中止する場合は、測定前にYPAO用マイクを取り外します。

### 2 「測定開始」が選ばれていることを確認して、SETUPキーを押す。

10秒後に測定が始まります。

測定が終わると、テレビに以下の画面が表示されます。




- 警告メッセージ「W-1：SP接続逆相」が表示された場合は、次ページの『「W-1:SP接続逆相」が表示された場合』をご覧ください。
- エラーメッセージ（E-1など）や警告メッセージ（W-2など）が表示された場合は「取扱説明書」の「エラーメッセージ」（31ページ）または「警告メッセージ」（32ページ）をご覧ください。

**3** 「保存/終了」が選ばれていることを確認して、ENTERキーを押す。




**4** 「保存」が選ばれていることを確認して、ENTERキーを押す。




**5** YPAO用マイクを本機から取り外す。

これでスピーカー設定は完了です。

- YPAO用マイクは熱に弱いため、高温になる場所（AV機器の上など）や直射日光が当たる場所を避けて保管してください。

## 「W-1:SP接続逆相」が表示された場合

以下の手順でスピーカーの接続を確認してください。
スピーカーの種類や設置環境によっては、正しく接続されていても警告メッセージ「W-1：SP接続逆相」が表示されることがあります。




① カーソルキーで「測定結果」選び、ENTERキーを押す。
② 「結線確認」が選ばれていることを確認する。
③ 赤枠で囲まれた「逆相」と表示されているスピーカーのケーブル接続（＋と－）を確認する。

**正しく接続されている場合：**

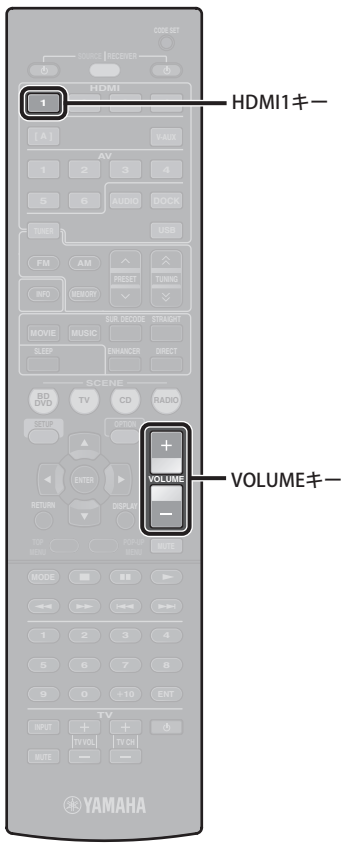
測定結果をそのまま保存して問題ありません。
RETURNキーを押してから、左記の手順3以降を実行してください。

**間違って接続されている場合：**

本機の電源を切ってからスピーカーケーブルを接続し直して、もう一度YPAOを実行してください。

# 6 BD/DVDを再生する

実際にBD/DVDを再生してみます。
サラウンド感を体感するために、マルチチャンネル音声（5.1ch以上）が収録されているディスクの再生をおすすめします。




**1** HDMI1キーで本機の入力を「HDMI1」に切り替える。




**2** BD/DVDレコーダーでBD/DVDを再生する。

**3** VOLUMEキーで音量を調節する。




これで5.1チャンネルシステムを設置して、本機でBD/DVDのサラウンド音を再生するまでの手順は完了です。

- 初期設定では、音場プログラムは「STRAIGHT」（ストレートデコード）が設定されています。「STRAIGHT」（ストレートデコード）の場合、ディスクに収録されている各チャンネルの音声が各スピーカーからそのまま出力されます。

## サラウンドスピーカーから音声が出力されない場合

**マルチチャンネル音声を再生してもフロントスピーカーからしか音が出ない**

BD/DVDレコーダー側のデジタル音声出力設定をご確認ください。
PCMなど、常に2チャンネルで出力する設定になっている可能性があります。

**音が出ないスピーカーがある**

「取扱説明書」の「故障かな？と思ったら」（78ページ）をご覧ください。

## さらにこんな機能も!

**ほかにもたくさんの機能があります。**
**別冊の「取扱説明書」をご参照のうえ、本機の性能を十分にご活用ください。**

### BD/DVDレコーダー以外の機器を接続する（23ページ）

CDプレーヤーなどのオーディオ機器、ゲーム機やビデオカメラなどさまざまな外部機器を接続できます。

### 好みのサウンドを選ぶ（35ページ）

映画、音楽、ゲーム、スポーツ番組など、視聴する内容に合わせてお好みの音場プログラム（シネマDSP）やデコーダーを選べます。

### iPodの曲を再生する（42ページ）

iPod付属の専用USBケーブル、オプションのヤマハ製iPodドック、またはiPodワイヤレスシステムを使って、iPodの曲を本機で再生できます。

- **FM/AMラジオを聴く（39ページ）**
- **Bluetooth機器の曲を再生する（49ページ）**
- **USB機器の曲を再生する（51ページ）**
- **入力と設定をワンタッチで切り替える（34ページ）**

**詳しくは「本機でできること」（8ページ）をご覧ください。**

© 2011 Yamaha Corporation Printed in Malaysia WW92900